

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	基盤・学習機会整備事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	恩田 一成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民全般	意図	市民が行う生涯学習活動の基盤及び学習機会の整備・充実を図る。
事業内容	流山市文化芸術基本条例及び流山市生涯学習推進基本構想に基づく生涯学習の基盤及び学習機会の整備・充実に係る施策の推進を図る。特に生涯学習審議会の開催、成人式の企画運営など、生涯学習活動の基盤及び学習機会の整備充実を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市生涯学習基本構想を平成23年3月に改定、流山市文化芸術振興条例を平成26年に制定した。平成29年には文化芸術の施策の推進を図るため同条例を改正して、名称も流山市文化芸術基本条例とした。また、成人式は平成19年度からアウトソーシング事業として行い、平成28年度からキックマン アリーナで開催するようになった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	成人式出席率	68.52	73.18	69.50	%	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成人式出席率は70パーセント前後の割合で推移している。実行委員会形式での企画、運営となることから出席率の向上に対する積極的な取組を図ることはできないが、ソーシャルメディア等の活用も視野に出席率の向上を目指す。
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,958,271	7,191,755	5,626,975	
事業費(b)(円)	3,452,271	5,818,755	4,284,575	
うち一般財源	3,452,271	5,818,755	4,284,575	
職員給与と費(c)(円)	1,506,000	1,373,000	1,342,400	
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	キックマン アリーナでの成人式の開催を定着させる。成人式対象者全員を収容できる会場での開催により、出席率の向上を目指す。	③取組の課題	昨年度よりも出席率が下がってしまった。新成人による実行委員会形式で企画を行うことから、出席率の向上を主たる目的にはできない。
②今年度(H29)に実施した取組	出席者等の安全に配慮し、流山警察と連携しながら成人式を実施した。企画段階から運営を委託する事業者が参加して、円滑な運営を図った。	④今後(H30以降)の改善計画	企画段階から、出席率の向上の重要性をアピールするようにしたい。新成人はソーシャルメディアの使用に精通しているので、新成人からの発信を依頼したい。